

（1）新庁舎の整備計画について

1. 建設地について

○小野町大字小野新町字美売地内（小野IC周辺・国道349号沿線）

<主な選定理由>

幹線道路に接しており町全体の中心的な立地である。（誰もが利用しやすい庁舎）
小野IC周辺に整備することにより、 ・町のランドマークとしての位置付けとなる。 ・有事の際に救援活動や災害応急活動の拠点となる。（防災機能の充実） ・交流人口、関係人口の拡大を目指し、本町の魅力を発信できる拠点となる。
指定避難場所の町民体育館の近辺であるため、災害時でも対応しやすい。 （安全・安心な暮らしを支える庁舎）
防災性に優れた立地である。（災害に強い庁舎）
町有地も活用した開発が可能である。（経済性に配慮した庁舎）

2. 新庁舎建設の基本理念・基本方針について

新庁舎については、小野町新庁舎建設基本計画における基本理念、基本方針に基づき、行政サービスの中核としての機能のほか、保健センター機能や防災等拠点機能、コミュニティ施設機能を強化した庁舎として整備することとしております。

【新庁舎整備の基本理念】	
町民の安全・安心の拠点となり持続可能な行政サービスを提供する庁舎	
【基本方針】	【基本性能】
①災害に強く安全・安心な暮らしを支える庁舎	(1) 防災等拠点機能
	(2) 防犯・セキュリティ機能
②町民に親しまれ誰もが利用しやすい庁舎	(3) 窓口、住民サービス機能
	(4) 執務機能（書庫含む）
	(5) コミュニティ施設機能
	(6) 議会機能
	(7) 保健センター機能
	(8) ユニバーサルデザインの採用
	(9) 駐車場・駐輪場等
③経済性に配慮した庁舎	(10) コストの低減
④環境にやさしくまちと調和した庁舎	(11) 環境負荷の軽減
	(12) 景観・周辺環境への調和

3. 新庁舎建築基本・実施設計業務における設計担当者について

受注者	福島県建築設計協同組合
(実施設計担当)	香山・小坂設計共同体
提案概要	構造：木造＋RC造 階数：3階（延べ床面積約3,000㎡） ※現在は、機能性や経済性を考慮し、2階建てによる庁舎として検討・協議を行っております。

4. 諸室配置計画について（令和7年4月末時点）

	諸室配置計画	備考
1階	税務課、町民生活課、出納室、 産業振興課、地域整備課等	窓口関係執務室
	健康福祉課、子育て支援課	保健センター機能
	町民ホール、会議室等	防災、災害対策機能 コミュニティ施設機能
2階	総務課、企画政策課、教育課等 町長室、教育長室 防災、災害対策機能 議場、議会事務局、正副議長室、委員会室等	

5. 事業スケジュールについて

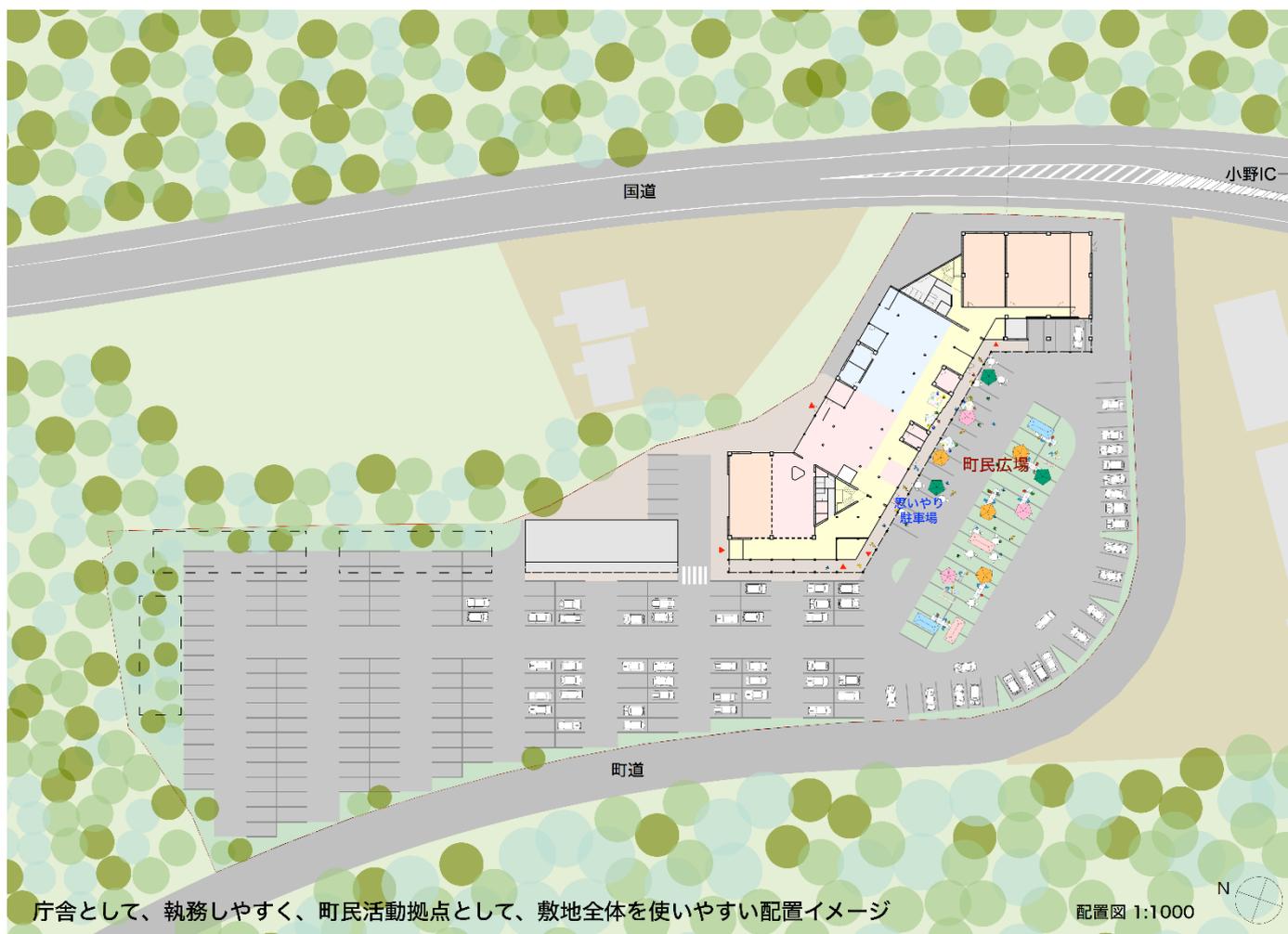
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
建築設計	■			
造成工事		■		
周辺道路工事		■		
交流定住支援館解体工事		■		
建築工事・外構工事			■	

※令和9年度末の供用開始を目標に事業を進めております。

○外観イメージ図（設計者提案時（現在は2階建て庁舎として協議・検討中）



○計画平面図（設計者提案時）



※上記外観イメージ図及び計画平面図については、今後の協議・検討により変更となる場合があります。